

平成 27 年 2 月 7 日

甲午会（九州大学工学部電気情報工学科同窓会）設立趣意書

1. 設立趣意文(案)

九州大学工学部電気情報工学科は、九州大学が帝国大学として 1911 年に開設された際に設置された九州帝国大学工科大学電気工学科をその起源としております。その後、1945 年に通信工学科の設置、1959 年に電子工学科の設置、1971 年に通信工学科から情報工学科への改組を経て、1996 年に電気工学科、情報工学科、電子工学科を 1 つの大学科に統合し、現在の電気情報工学科に至っています。1911 年の電気工学科設置以来、これら電気系諸学科は多くの先端的な研究成果を挙げるとともに、多数の優秀な人材を社会に送り出し、社会の発展に貢献してまいりました。

九州大学工学部電気情報工学科が今後一層発展し、世界最高水準の教育・研究環境を提供し続けるためには、我々同窓生も一丸となって母校を応援していく必要があります。今、大学に求められている、教育・研究の質の向上、社会との連携の強化には、同窓生と大学との連携が不可欠といえます。すなわち、大学の諸活動に対する社会や関係者の要望や意見を汲み上げ、常に改善を図っていくために、大学と同窓生とのコミュニケーションが極めて重要な役割を持つこととなります。

これまで、電気情報工学科に関連する同窓会活動としては、通信工学科・情報工学科を母体とする乙酉会、電子工学科を母体とする電子工学科同窓会がそれぞれ活動してきました。しかし、工学部全体の同窓会はあるものの、電気情報工学科に対応する同窓会組織はありませんでした。2011 年に 100 周年記念大同窓会を開催したおりに、電気情報工学科（そしてその母体となった電気工学科、通信工学科・情報工学科、電子工学科）全体に対応する同窓会を設立するべきであるとの意見が多く寄せられました。電気情報工学がカバーする科学技術分野は広く、同窓生の連携により様々な新しい社会への貢献が期待できます。世代や業種を超えた連携、産学官連携には同窓会活動をアクティブに進めることが重要です。

以上のことから、九州大学工学部電気情報工学科（並びに電気工学科、通信工学科・情報工学科、電子工学科）の同窓生の交流と親睦を横断的に深めるとともに、同窓生と九州大学工学部電気情報工学科との連携協力を密にし、我が母校である九州大学の更なる発展に貢献するため、九州大学工学部電気情報工学科（並びに電気工学科、通信工学科・情報工学科、電子工学科）の同窓生を対象とした同窓会を設立することにいたしました。なお、同窓会の名称は設立される 2014 年の干支にちなみ「甲午会」といたします。甲午会は九州大学工学部同窓会の支部と位置づけられ、九州大学同窓会連合会の下部組織として活動することになります。

つきましては、九州大学工学部電気情報工学科（並びに電気工学科、通信工学科・情報工学科、電子工学科）同窓生はじめ九州大学工学部電気情報工学科関係者の皆様におかれましては、上記の趣旨にご理解、ご賛同をいただき、ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2. 発起人

芦塚日出美, 荒木啓二郎, 大島洋, 熊本敏彦, 高本学, 田原修一, 徳光重則, 成富稔彦, 藤田賢一, 吉永徹, 岩崎和人, 倉爪亮, 谷口倫一郎, 遠竹泰, 林健司, 村田純一, 原田耕介, 山藤馨, 牛島和夫, 前田三男, 渡辺征夫, 立居場光生, 和田清, 上野至大, 和才博美, 岡田龍雄, 浅野種正

以上